

地域医療支援病院

宮崎江南病院

病院長 石川 正

宮崎市大坪西1-2-1

TEL.0985-51-7575

FAX.0985-53-8821

ひまわり

vol.26

平成22年11月15日発行

地域医療連携室
だより

民主党の代表選挙により、菅首相が再選され、改造内閣が発足しました。ところで、社会保険病院の組織形態については、「独立行政法人地域医療機能推進機構」を設立し、厚生年金病院、船員保険病院とともに地域医療を担う公的医療機関とする目的で、先の通常国会において法案が審議されましたが、当時の鳩山首相の突然の辞任もあって廃案となりました。

そこで、参議院選挙後の臨時国会において、9月末で廃止予定であった、RFO（「年金・健康保険福祉施設整理機構」社会保険病院等を管理している独立行政法人）の廃止期限が2年間延長されました。

今後、その2年の間に再度法案を提出し成立させる予定とされています。

宮崎江南病院としては、国会の動きは動きとして、地域の医療機関や患者の皆様のために貢献することが第一の使命であると考え、日々努力していきますのでこれからもよろしくお願いいたします。

平成22年10月吉日

事務局長 北園 彰



院内紹介

今回は、**麻酔科**です。

今回は麻酔科の紹介をさせていただきます。

麻酔科は平成14年1月に開設され、現在は常勤麻酔科主任部長近藤 修（宮崎医科大学卒 麻酔指導医）、嘱託医山下昌子（宮崎医科大学卒 麻酔指導医 月～木勤務）の2名で診療を行っています。

麻酔科医の主な仕事は手術の麻酔管理を行うことです。各診療科と連携して安全を第一に麻酔管理を行っています。

最近では麻酔管理の難しい循環器や呼吸器の合併症のある患者様の手術や80才以上の高齢者の方の手術も珍しくなく、そのような場合には術中の麻酔管理だけでなく、各診療科の主治医や内科医と協力して術前から術後までトータルな周術期管理を行うことも多くなりました。

また硬膜外麻酔などで術中から疼痛管理を開始し、術後の痛みを和らげ術後合併症を減らす術後疼痛管理も麻酔科の仕事に加わっています。

診療実績として平成14年度手術数1384例中麻酔科管理症例493例であったのが平成21年度には1462例中745例と増加しております。

また、麻酔管理とともに手術室の運営管理も麻酔科の重要な仕事です。手術室の大西看護科長以下看護師



14名が麻酔科医師とともに患者様が安全にかつ快適に手術をうけられるよう、また御紹介いただいた患者様の手術を長期間お待たせすることがないように効率的な手術室の運用を心掛けています。

麻酔科医師は全国的に不足しており、当院もなかなか増員できないのが悩みの種ですが、将来的には癌性疼痛に対する緩和医療や集中医療なども行っていきたいと考えています。

最後に、宮崎江南病院では平成17年6月より救急救命士の挿管実習を実施しております。実習は麻酔科が担当し現在までに23名が終了しました。この挿管実習は患者様のご協力が無いと成り立ちませんが、幸いにして多くの患者様にご協力いただき実習は順調に進んでおります。

この場を借りて御協力いただいた患者様に御礼を申し上げます。

麻酔科主任部長 近藤 修



主任部長 近藤 修

専門分野 臨床麻酔、集中治療

所属学会 日本麻酔科学会（指導医）
日本臨床麻酔科学会
日本集中治療学会
日本ペインクリニック学会



山下 昌子

専門分野 臨床麻酔

所属学会 日本麻酔科学会（専門医）
日本臨床麻酔科学会
日本ペインクリニック学会

症例検討会へどうぞ

9・10月の実施状況

9月（9月16日実施）

- 長期透析合併症に対する画像診断（放射線科）
- 高Ca血症と腎障害（内科）
- 3階西病棟 回りハ看護管理（3階西病棟）
- 2010年前期胃手術症例について（外科）
- 皮膚軟部組織欠損における遠隔皮弁の有用性（形成外科）

10月（10月23日実施）

MRT miccにて特別講演会を開催いたしました。鹿児島大学大学院の夏越祥次先生をお招きし、「消化器癌の診断と治療の最前線」というテーマでご講演いただきました。お忙しいなかご協力いただきました夏越先生、またご出席くださいました地域医療機関の先生方およびスタッフの方々、誠にありがとうございました。

今後の予定

- 12月と1月は
お休みです
- 2月10日(木)

地域医療を 支える

平成22年5月1日に南宮崎駅の近くに一般内科と透析の無床診療所を開業致しました。開業後すぐに地域医療連携の登録医に加えて頂き、有り難うございます。まだ慣れないことばかりで開業医としての未熟さを感じる毎日です。

私は宮崎市出身で、実家は宮崎江南病院の近くです。小中高校の校区内で開業したことになります。私が子供の頃、親戚が宮崎江南病院に入院して見舞いに行った際、建物が薄暗くて、大きくて、幼心に怖いイメージを抱いた記憶があります。まだ結核病棟もあった頃で、周りは田んぼに山でした。私はその近くの山で遊んでおりました。当時と比べて、現在の病院周囲の風景は大きく変わっております。

私は昭和57年に宮崎医科大学を卒業し、同大学第一内科に入局致しました。腎臓グループの一員として、腎臓・透析を主たる業務にして、宮崎県内の関連病院を回っておりました。宮崎江南病院には平成9年より2年間お世話になっております。開業医の先生方から緊急の紹介も多く、かなり忙しく、しかし、勉強になった期間だったと思っております。大淀川より南をカバーする中核病院としての位置づけを改めて実感致しました。

今度は開業医として、入院適応のある患者さんをお願いせねばならない立場となりました。重症の患者さんが入院すると、それ以降の自分の予定がすべてキャンセルになったりすることがあるため、入院依頼を受ける時は、それなりの覚悟が要ります。しかし、宮崎江南病院の先生方はいつも快く引き受けて下さり、本当に感謝しております。現在当院の透析患者

落合内科
chiai Medical Clinic

院長 落合 英幸

〒880-0902 宮崎市大淀3丁目1-35
TEL.0985-86-8000
FAX.0985-86-8001



さんがほぼ常時何名か入院してお世話になっております。また昨年だけでも父が鼠径ヘルニアで、息子二人が虫垂炎で手術をして頂き、公私共々大変お世話になっており、宮崎江南病院に足を向けては寝られない思いです。

透析は特殊な分野だと思います。合併症が多く、年間156回、1回も休むことなく病院に来ることを強要されますので、患者さん方のストレスたるや相当なものです。いつでも気持ち良く来院して頂けるように心がけていきたいと思っています。

透析施設という情報が先行したためか、開設後半年を過ぎても、風邪は診てくれるのですか、という問い合わせがあり、慌てて内科一般を診てますので、いらして下さいとお伝えし、PR不足と地域への貢献不足を感じています。

医療機器、スタッフ数等、大病院並みには揃えられない診療所レベルでは、どうやれば地域に寄与できるのか悩みながら、しかし自分を育ててくれた地域に恩返しできれば、と思いつつ診療しております。後ろで控えて頂いている宮崎江南病院があるからこそ出来ることなので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

診療科	診療	曜日	月	火	水	木	金
内科	第一新患	8:30~10:00	渡邊玲子(循環器)	渡邊裕貴(循環器)	松尾剛志(循環器)	松尾剛志(循環器)	平山直輝(循環器)
	第二新患	10:00~12:00	岩坪修司(腎臓)	松尾剛志(循環器)	高木信雄(消化器)	平山直輝(循環器)	戸倉 健(腎臓)
	第三新患 + 再診		三宮 一郎	海老原 史高		大野 妙子	
	再 診		平山 直輝	岩坪 修司	石川 正	石川 正	松尾 剛志
			高木 信雄	平山 直輝	渡邊 玲子	渡邊 玲子	岩坪 修司
			渡邊 裕貴	今村 卓郎	戸倉 健	戸倉 健	渡邊 玲子
特殊再来(午後)				北村 和雄		渡邊 裕貴	
外科	初診・再診		白尾 一定	秦 洋一	白尾 一定	立野 太郎	秦 洋一
	乳腺・甲状腺外来(午前)				出先 亮介		白尾 一定
	ストーマ外来(午後)		秦 洋一 (第1月曜のみ)				
	NST外来(午後)				白尾 一定 (第3水曜は除く)		
形成外科	初診・再診		大安 剛裕	塩沢 啓	大安 剛裕	塩沢 啓	大安 剛裕
			川浪 和子	加治木 智子	加治木 智子	川浪 和子	塩沢 啓
整形外科	1 診		松元 征徳	本部 浩一	松元 征徳	松元 征徳	本部 浩一
	2 診		村上 弘	近藤 梨紗	近藤 梨紗	本部 浩一	村上 弘
放射線科	CT/MRI/RI		杜若 陽祐・結城 康弘・宮田 裕子・伊藤 泰教				
	血管造影		結城 康弘				
	内視鏡		伊藤 泰教				

プライマリーケア(午後)	大野 妙子	渡邊 玲子	渡邊 裕貴	三宮 一郎	海老原 史高
	(海老原 史高)	(大野 妙子)	(三宮 一郎)	(渡邊 玲子)	(渡邊 裕貴)

*都合により変更になる場合があります

受付時間 8:30~11:00
(但し、急患・紹介患者はこの限りではありません)

編集後記

空も秋色をおびてまいりましたが、お変わりなくお過ごしでしょうか。
今までこの編集後記を担当していた北御門さんが9月より産休に入りまして、後任といたしまして相良が担当させていただきます。地域の医療機関の方々にはご迷惑をおかけすると思いますが、よろしく願いいたします。

さて、今回の表紙は北御門さんが実家で撮ったものを使わせていただきました。自分で撮らなくてはならなかったのですが最後まで先輩に甘えてしまいました。次回からは自分で過去の表紙に負けない写真を撮っていきたいと思います。

少し堅い文章になってしまいましたが、徐々に自分の色を出せればと思います。

E-mail:renk203@mist.ocn.ne.jp 地域医療連携室 相良 佳希

ご意見・お問い合わせ

宮崎江南病院 地域医療連携室

TEL.0120-855-082 FAX.0120-855-083

地域医療連携室長:白尾 一定
専任担当:佐藤 貴代・相良 佳希